

2015年9月14日

第202回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録

部会長・村山元理

2015年9月12日(土曜) 17:00~19:00

場所:サイゼリヤ上野広小路店(台東区上野 2-7-12 鈴本ビル 2F)

参加者:佐藤、山本、宇佐神、古山、辻井、望月、長塚、井上、竹内、村山の10名

欠席連絡:遠藤、緒賀、新川、速水 連絡なし:佐藤(聡)、西藤

配布物:佐藤氏より大量の資料。山本氏よりエントリー案(陽明学と経営倫理)

内容:宇佐神先生の慰労会をかねて、意見交換をする。

・当日の交流例会(アメリカ経営倫理学会報告、梅津会長ら)の報告を会報等に知らせるべき重要な主旨である旨が佐藤氏より提言された。ビジネスとは何か、倫理とは何か。理念哲学研究部会の役割を再認識。

議題:

1. 村山元理: 東北大学会計職大学院での「ビジネス倫理」の授業紹介ー教育の有り方と反省 Teaching Business Ethics at Tohoku University, Accounting School

内容:アスベスト問題とクボタのCSR、ビジネス倫理教育の歴史、日米のビジネス倫理、応用倫理学、倫理クイックテスト、雪印事件と不祥事対応、ガバナンス、CSR、経済界・海外の倫理基準、経営史と倫理、スピリチュアリティと経営、掃除の経営、中島久万吉研究など
レポートの課題;私の生き方・労働観、私のマネー観、滋賀CSRモデル評価軸の論評
教育法; 講義+グループ討議の意義

2. 『21世紀の経営倫理』エントリー、分担案

・既存発表、新規の研究を含めて各自の能力に応じて、日本企業、グローバル、学際性、アメリカ経営倫理学、哲学、ケース、人物、自己の人生の照射など。

各自がテーマ・分量をエントリーする。全体で16万字・大学テキスト用を想定。教科書的・啓蒙的な内容に。研究者はテキスト的記述、シニア層は体験ストーリー記述型で少量などを想定。2年以内に完成へ。

以上